

**コンクリート防食工**

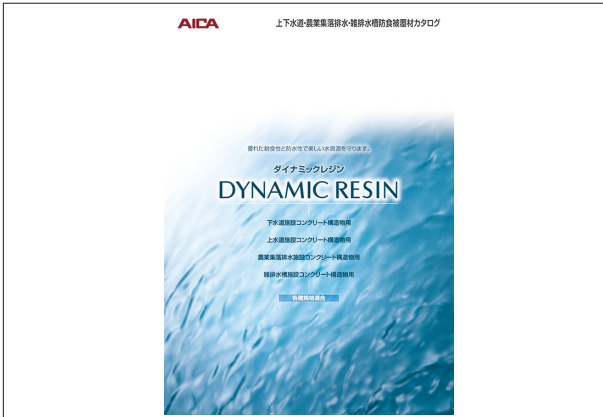
コンクリート構造物被覆工法  
ダイナミックレジン  
DSK-2T-EP工法  
DSK-3T-EP工法

**アイカ工業株式会社** 〒450-6326 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋26F  
TEL (052) 409-8000

電子メール

ホームページ <http://www.aica.co.jp/>

資料請求先 アイカ問い合わせセンター TEL(052)409-8313



ダイナミックレジン上下水道防食被覆カタログ



ピンホール検査状況

## 概要

ダイナミックレジンDSK-2T-EP工法、DSK-3T-EP工法は、耐酸性に優れた無溶剤型エポキシ樹脂を使用しており、有機酸・無機酸の作用を受けるコンクリート構造物（特に雑排水槽）の防食被覆工法として優れている。

## 特長

- 1. 長年の施工実績**  
ダイナミックレジンシステム（防食ライニング工法）として、下水道施設に25年以上の実績を有する。
- 2. 優れた耐薬品性**  
無機酸（硫酸、硝酸など）や有機酸（酢酸、プロピオン酸）に対して、耐性を有する。  
※社内試験方法において重量変化率1%以下
- 3. 充実した商品ラインナップ**  
雑排水施設の防食工法として必要な、耐酸断面修復材（アシッドモルタル/JDE-115）やシーリング材（JDE-157）をラインナップ。
- 4. 認定施工店制度による施工体制**  
品質確保の徹底を図る施工体制を確立（プライベートライセン্সが必要）。

## 適合規格

- DSK-2T-EP工法／DSK-3T-EP工法  
日本下水道事業団の「下水道コンクリート構造物の防食抑制技術及び防食技術マニュアル（平成24年版）」の『C種、D種塗布型ライニング工法』品質規格
- 断面修復材「アシッドモルタル（JDE-115/JDE-115P）」  
「東京都下水道局コンクリート改修技術マニュアル『断面修復材の要求性能指標（補修用モルタル）』」
- シーリング材「JDE-157」  
日本下水道事業団の「下水道コンクリート構造物の防食抑制技術及び防食技術マニュアル（平成24年版）」の『シーリング材』品質規格

## 各種仕様概念図

### C種対応

#### DSK-2T-EP工法



#### ●工法性能表

| 工程   | 材料の種類                    | 材料名     | 標準塗布量         |
|------|--------------------------|---------|---------------|
| 素地調整 | エポキシ樹脂系ポリマーセメントモルタル素地調整材 | P-960   | 0.5～2.0 kg /㎡ |
| 中塗   | 無溶剤型エポキシ樹脂系中塗材           | JDE-375 | 0.8 kg /㎡     |
| 上塗   | 無溶剤型エポキシ樹脂系上塗材           | JDE-355 | 0.2 kg /㎡     |

設計膜厚 0.7mm以上(硬化後厚さ)

※塗材に変色が発生しても防食機能には問題は生じない

### D種対応

#### DSK-3T-EP工法



#### ●工法性能表

| 工程    | 材料の種類                    | 材料名     | 標準塗布量         |
|-------|--------------------------|---------|---------------|
| 素地調整  | エポキシ樹脂系ポリマーセメントモルタル素地調整材 | P-960   | 0.5～2.0 kg /㎡ |
| 中塗(1) | 無溶剤型エポキシ樹脂系中塗材           | JDE-375 | 0.8 kg /㎡     |
| 中塗(2) | 無溶剤型エポキシ樹脂系中塗材           | JDE-375 | 0.8 kg /㎡     |
| 上塗    | 無溶剤型エポキシ樹脂系上塗材           | JDE-355 | 0.2 kg /㎡     |

設計膜厚 1.3mm以上(硬化後厚さ)

※塗材に変色が発生しても防食機能には問題は生じない

※日本下水道事業団の「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル（平成29年版）」の「耐有機酸性品質規格」に適合し、B種、C種、D種に対応した工法もある